

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットワーク通信

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

2022(令和4)年12月28日／号外版

向日葵はわが街のシンボル



風早北部地域ふるさと協議会 編

愛犬・愛猫家の皆さん！

災害への備えは…出来ていますか？



大規模災害発生時に、自宅が損壊して避難所移動を余儀なくされた場合、愛犬・愛猫などのペットをどうされますか？きっと「家族同然で手放すのは無理」ですよね。現在柏市では、指定避難所である近隣センターや学校構内にペットを同行（ペット専用収納場所の確保）できる措置の検討、更には同伴避難（避難所内に飼い主と一緒に受入れる）場所の確保についても可能性を模索しています。

でも…ちょっと待って！

市の指定避難場所や避難所が、感染症対策を講じていても狭隘化の問題を解消できていない中、別途ペット用の避難スペースを



講じるのは難しそうです。ペットにとって不慣れな環境となる避難所に多くのペットを収容することにも、避難所運営を更に困難にする可能性があり、クリアすべき課題が多いと思います。

風早北部地域ふるさと協議会（防犯防災部）は、こうした避難所にペットを持ち込む策にはもっと慎重であるべきと考えます。私たちは独自の避難手段策を提起し、行政や市民の皆さんに訴えてまいります（年明けには本紙面上でその内容を紹介してまいります）。

その前段として、地域住民の皆さん（家族同様のペットと同居されている方々）には、以下（次頁）に掲載のアンケートを通じ、皆さんのお声をお聞かせいただきたく、回答にご協力をお願いします。

愛犬・愛猫家等の皆さんには裏面／次頁も是非ご覧ください

愛犬・愛猫等ペットをお持ちの皆さんへのアンケート

大規模地震発生で在宅避難ができない場合、あなたは愛犬・愛猫などのペットを連れての外部避難を余儀なくされた際にどうのように行動されますか？ペットとの生活をどうされますか？以下の2つの問い合わせにご回答をお願いします。

【Q1】在宅できない場合の対応 (①～⑥の該当する項目全てに○を記載、⑦は自由記述)

- ① 親戚や縁者、ペット専門ホテルなど、一時的にペットを預かってもらえる場所を確保している
- ② 上記の場所につき現時点で確保は出来ていないが、現在、鋭意探している
- ③ マイカーを使った避難でペットと一緒に暮らす
- ④ 自宅に住めない場合を想定し、テントを購入して近くの公園などでペットと一緒に暮らす
- ⑤ やむを得ずペットは手放すことになる
- ⑥ 具体的な対策は何も考えていない
- ⑦ その他（具体的な内容をお書きください）

【Q2】現状で、市行政はペットとの避難所への同行避難や同伴避難を現状の指定避難所という枠組内での対応でしか策を検討していません。こうした市の取り組みについてはどう思われますか？

- ① 現状で市の対応はこれが精いっぱいであり、致し方ない
- ② 市の対策では物足りないと感じ、失望している
- ③ 元々行政側にはあまり期待していない（自分たちでなんとかするだけ）
- ④ その他、ご意見・要望があればお書きください。

本アンケートへの回答方法

上記の回答内容をメール本文にベタ打ちで「boux2@kazakita.org」宛てお送りください（締切りは令和5年3月末といたします）

あるいは沼南近隣センター「ひまわりプラザ」1階ロビーのチラシコーナーにも本アンケートの印刷版紙面(色紙)を用意していますので、そちらを1枚お取りいただき、直接回答を記入、そのまま、同フロア奥の当会事務室入口横の「連絡箱」にご投函ください。

ご回答者には**後日漏れなく**、災害時に役立つ「(大判) キッチンラップ」を差し上げます（お渡しは沼南近隣センターにて行いますので、必ず投稿者のご連絡先メール又は携帯電話番号をお知らせください）。

以上です